

平成17年度 事務事業評価表					
(様式1)					
記入年月日	平成17年4月22日			記入者	内線 744-7722
部 名	生涯学習部	課 名	大沼公民館	課長名	中川新一
事務事業名	市民健康まつり事業				
予算上の事務事業名	公民館活動費大沼公民館				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		15210		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政 策 名	第5章 いきいきとした生涯学習社会をつくります				
基本施策名	第2節 生涯スポーツ・レクリエーションの振興				事業開始年度
施 策 名	第1施策 スポーツ・レクリエーション活動の促進				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分 啓発・広報・イベント ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)	
市民1人ひとりがスポーツや体力づくりに親しみ、心身ともに健康な生活を目指す。 また、住民間の交流を図るとともに、今後の公民館事業への参加のきっかけづくりとする。				公民館館区内の住民	
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
実施日時	平成16年5月23日(日)午前8時30分～午後1時				
実施内容	大沼小学校で簡単な体操～県立相模原公園まで片道約4キロをウォーキング、公園でインディアカ、フォークダンス、歌、ビンゴゲーム等を実施 なお、ウォーキングに参加しない高齢者は大沼小学校でゲートボールを実施 (雨天時は大沼小学校体育館で、ビーチボール、ビンゴゲームを実施するメニューも用意)				
参加者数	約330名				
主 催	大沼公民館				
主 管	大沼公民館市民健康まつり実行委員会				
6 関連・類似事業や他市の状況					
市内全公民館で同様な目的で実施					
7 事業費の推移 [単位:千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事 業 費	150	100	95	95	95
一般財源	150	100	95	95	95
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	2,960	2,958	2,937	2,937	2,937
事業コスト合計(a)	3,110	3,058	3,032	3,032	3,032
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	市民健康まつり事業			対象名称(単位)	参加者数(人)
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	3,110	3,058	3,032	3,032	3,032
対象数	9,200	9,300	9,400	9,400	9,500
単位あたり経費(円)	338	329	323	323	319
前年度比		0.97	0.98	1.00	0.99

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	参加人数（人）		指標式と指標の説明		
			各年度の参加人数 / 400人 × 100%		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	370.0	350.0	330.0		
目標	400.0	400.0	400.0	400.0	400.0
目標達成度	0.93	0.88	0.83		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	参加人数（人）		指標式と指標の説明		
			各年度の参加人数 / 400人 × 100%		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	370.0	350.0	330.0		
目標	400.0	400.0	400.0	400.0	400.0
目標達成度	92.5	87.5	82.5		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
B	<input type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
今後、より多くの方が参加できる内容にし、事業の周知にも創意工夫し、協力体制についてもこれまでの自治会、小学校長、公民館専門部員に加え、各サークルにも呼びかけを行う。			市民健康まつりの当日が雨天の場合は、大沼小学校の体育館でビーチボール、ゲーム等を行うメニューを組んでいる。 しかし、この場合は体育館の収容人数の関係から、参加人数の制限を行う必要も考えられる。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			